

小・中学校特別活動研究部

I 研究主題

主体的・協働的な学びの探求

—互いのよさを認め合い、話し合い活動を充実させるための工夫—

II 研究主題設定の理由

今日、子どもたちの姿を見ていると人間関係の希薄化、集団のために働く意欲や諸問題を話し合っ解決する力の不足、好ましい人間関係を築くことが困難など、社会性の育成が不十分であると感じることが多い。学校・学級は、他者と共に生きる社会的な場であるが、教科学習のみでは十分な社会性は育ちにくいという現状がある。そこで、日常生活における集団活動において「互いのよさを生かしながら、協力して活動する」といった経験を十分にさせたい。

日々接している児童生徒は、それぞれが自分の役割を果たし、学級を楽しくよりよい集団にしていきたいという思いを抱きながら生活を送っている。しかし、個人的な興味、関心だけに基づいた話し合いになったり、出し合った意見について十分に思いや願いを理解し合わないまま賛成、反対の言い合いになったりする。そこで、互いのよさを尊重し合いながら、豊かな学校、学級生活をつくっていくことの大切さを意識させることが大切である。

学級会は、子どもたちによる自発的、自治的な活動であるから、話し合い活動は可能な限り子どもたちに任せることが基本である。しかし、それは「適切な教師の指導のもと」で、望ましい集団活動、自治的能力が育つのである。その中で子どもたち同士が互いのよさに気づき、折り合いをつけて話し合うことで、主体的・協働的な学びの探求ができると考え、研究主題を設定した。

III 研究の内容

1 研究の内容

- (1) 平成 20 年度改訂学習指導要領「特別活動」の内容
- (2) 特別活動〔学級活動（1）〕話し合い活動（学級会）の指導法の在り方、研究授業
- (3) 「主体的・協働的な学び」としての学級活動の指導法に関する理論研究
- (4) 講演会・研究発表会・各種研究会等への参加を通じた研究
 - ① 主体的・協働的な学びを創る研修会①②（6月1日、8月25日）
 - ② 専門研究員特別活動研究部 研究授業・協議（10月12日）
指導者：学習院大学 長沼豊 教授
 - ③ 研究員・学び創造プラン研究校研究発表会（2月18日）


2 研究授業

7月 8日（金）	荒幡小学校（4年生）	日高 卓
9月 27日（火）	中富小学校（5年生）	菅瀬 佑子
10月 7日（金）	三ヶ島小学校（1年生）	辻 成美
11月 16日（水）	伸栄小学校（4年生）	加藤 香織
12月 1日（木）	山口中学校（3年生）	河内 直美

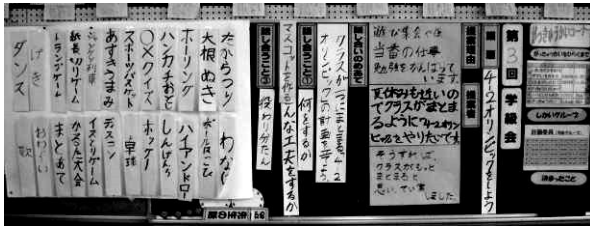
指導案検討、作成、5回の研究授業、協議を実施

IV 実践例

実践事例① 平成28年7月8日 所沢市立荒幡小学校 第4学年学級活動 日高 卓

第3回 学級会活動計画書 平成28年7月8日(金) 5時間目			
議題		4-2オリンピックをしよう	
提案理由		遊び集会や係、当番の仕事、勉強をがんばっています。夏休みも近いのでクラスがまとまるように「4-2オリンピック」をやりたいです。そうすれば、クラスがまとまると思って、提案しました。	
話合いのめあて		クラスがまとまる「4-2オリンピック」の計画をたてよう。	
決まっていること		①日時：7月20日(水) 3校時 ②場所：4-2教室 ③内容：4-2のオリジナルのもの(35分くらいでできるもの) ④プログラム 始めの言葉、終わりの言葉を入れる	
時間	話合いの進行	進め方・気をつけること	◎目指す児童の姿(評価)
5分	1 始めの言葉 2 学級会コール 3 計画委員の紹介 4 議題の確認 5 提案理由の発表 6 めあての確認 7 決まっていることの確認	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声ではっきりと言う。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>事前に背面黒板を使って、話し合うこと①の意見の共有化 本時は、三段階討議法の「まとめる」からはじめた。</p> </div>	◎計画委員の仕事の内容や話合いの進め方について理解している (知識・理解【教師の観察】)
5分	8 話合い 話し合うこと① 何をするか <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 出し合う 比べあう まとめる(本時) </div>	<ul style="list-style-type: none"> 話がそれないように場を整理する。 スムーズに進める。 同じ人だけでなくよく見て指名する。 大きな声ではっきりと言う。 	話し合うこと①で決まったこと <ul style="list-style-type: none"> おわらい(ただし5分) ディスコン スポーツバスケット
25分	話合うこと② どんな工夫をするか <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ウェッピング法 </div>		話し合うこと② 意見の拡散(できる限り実行) 役割ごとに優先順位を決める 集団決定 → グループ決定
5分	話合うこと③ 役割分担 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px; border-radius: 15px;"> <p>考えを多方面に広げていく方法</p> </div>	ウェッピング法での話合い活動 意見の積み上げ → 生かし合い 心配なこと → 改善案 ①何をするか ②工夫 ③役割分担	◎提案理由に沿ってよりよく考え、理由を明確にして自分の考えを発言している。 (思考・判断・実践【教師の観察】) ◎友だちの考えを自分の意見と比べながらよく聞いている。 (思考・判断・実践【教師の観察】)
5分	9 決まったことの確認 10 話合いの振り返り 11 先生の話 12 終わりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> めあてにそったふり返りができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>終末の先生の話 ①「前回の話合いよりもよくなったこと」 ②「次回の話合いへの課題」 ③「計画委員へのねぎらい」</p> </div>	

【事前活動】 背面黒板の活用・学級会コーナー 【事後活動】 役割ごとの準備の様子



【実践活動】 4-2 オリンピックの様子

【振り返り】 プリント・学級会ノート



研究の成果と課題


成果としては、児童が学級会の経験を重ねるごとに、話し合いの進め方を理解し、学級会の楽しさも知り、自分たちで学級をつかっていこうとする力が育ってきた。また、ウェッピング法を取り入れたことで新しい話し合いの方法を知り、考えを広めることができた。

課題としては、言語能力を各教科・領域を通してさらに高めていくことが必要である。そして、ウェッピング法については、意見の拡散をどのようにまとめていくかなど、さらなる研究が必要である。課題を克服するために、これからも、教師が他クラスの学級会の授業を多く参観したり、参考資料に多く目を通したりして、さらに研究を進めていきたい。

実践事例② 平成28年9月27日 所沢市立中富小学校 第5学年学級活動 菅瀬 佑子

第4回 学級会活動計画書 平成28年9月27日(火) 5時間目		
議題	ハロウィンパーティーをしよう	
提案理由	秋のイベントといえばハロウィン。ハロウィンパーティーをクラスのみんなでやると、さらに仲良くなると考えたので提案しました。	
めあて	みんなのできる楽しい遊びを決めよう。	
決まっていること	10月31日(月)・1時間でできること・お金はかけない	
話し合いの順序	進め方や気をつけること	◎目指す児童の姿(評価)
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声ではっきりと話す。 一つ一つ指示し、分かりやすいようにする。 計画委員で事前に決めておく。 	◎計画委員の仕事内容や話し合いの進め方について理解している。 (知識・理解【教師の観察】)
2 計画委員の紹介		
3 議題の確認		
4 提案理由の発表		
5 めあての発表		
6 決まっていることの確認		
7 話し合い 柱① 会の内容を考えよう	<ul style="list-style-type: none"> 出ている意見に質問や補足・説明がないか確認する。 「まとめる」の時間は提案理由に 	<ul style="list-style-type: none"> 司会が進行に困っている時や話の方向がずれたとき、自治的活動の範囲を超えそうなときなど



<p><話し合いのながれ></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・出し合う ・比べあう ・まとめる </div> <p>柱② 役割分担を考えよう</p>	<p>沿っていて、賛成の多いものから決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの流れがずれてきてしまったときは、提案理由や話し合いのめあてをもう一度見るように伝える。 ・意見が出なくなってしまったときは周りの人と相談する時間を少しとる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>柱① 出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゾンビおにごっこ・ハロウィンだれだ・あめ宝さがし・仮装・かくれんぼハロウィン・なんでバスケット (ハロウィン) </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>柱② 出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会・ルール説明・飾り付け ・タイムキーパー </div>	<p>は積極的に助言し、児童の意欲が損なわれないようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分なりに理由をつけて発表できるように支援する。 ・自分の考えに固執せず、友達の意見を聞いて納得し考えを変えることは、集団生活上必要であることを助言する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ゾンビおにごっこ ○あめ宝さがし </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>決定事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会・ルール説明・飾り付け ・タイムキーパー </div> <p>◎提案理由に沿ってよりよく考え、理由を明確にして自分の考えを発言している。 (思考・判断・実践【教師の観察】)</p> <p>◎友達の考えを自分の意見と比べながらよく聞いている。 (思考・判断・実践【教師の観察】)</p>
<p>8 決まったことの確認</p> <p>9 話し合いの振り返り</p> <p>10 先生の話</p> <p>11 終わりの言葉</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・提案理由を意識した発言や学級全体を考えた建設的な発言、友達との関連発言など意欲的に参加していた児童を称賛する。 ・計画委員や提案者にねぎらいの言葉をかけ、実践に向けての見通しをもたせるとともに、事後の活動への意欲が高まるようにする。

研究の成果と課題

成果は計画委員の仕事を明確にし、輪番制にすることによって、共通理解ができ、学級会を進めるごとに、話し合いの方法も理解でき、意欲的に取り組む児童が多くなった。日々発言できない児童も事前に意見を書き、教師のコメントが付くことによって自信をもって発言できるようになった。また、授業への参加意欲が高まった。

課題は遊びの数や工夫することが明確にできないと、事後の活動に疑問がでてきてしまうので、何をどうするのか明確にする必要性を感じた。振り返りカードに、話し合いについて記入できない児童がいたので、個に応じた声かけの必要性を感じた。意見に対し、拍手をする習慣が身につけてしまっているので、発言内容を十分に理解させたい。自分の意見に固執してしまう児童もいるので、折り合いのつけ方を指導していきたい。

実践事例③ 平成28年10月7日 所沢市立三ヶ島小学校 第1学年学級活動 辻 成美

第5回 学級会活動計画書 平成28年10月7日(金) 1時間目			
議題	遠足で みんなで 楽しく仲よくなれる クラス遊びをしよう		
提案理由	遠足で 狭山湖にいきます。クラスで遊べる時間が、30分あります。そこでクラスみんなで楽しく遊べたら、今よりもっとみんなが仲よくなると思ったから提案しました。		
話し合いのめあて	クラスみんなで 楽しめて 仲よくなれる遊び方を 考えよう。		
決まっていること 条件	① 10月21日(金)の遠足です。 ② 遊びは、2つ。 ③ 30分でできるもの。	初めに歌を歌い、和やかな雰囲気の中、話し合いが行えるようにした。	
時間	話し合いの進行	進め方・気を付けること	◎目指す児童の姿(評価)
5分	1 始めの言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確認 4 提案理由の発表 5 めあての確認 6 決まっていることの確認 7 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> 大きな声ではっきりと言う。 議題や提案理由・決まっていることを全員がしっかりと共通理解できるようにする。 <p>提案理由は、紙芝居形式で発表することで、児童一人一人がイメージをもてるようにした。</p> <p>話し合うこと①は、児童の考えを事前に背面黒板に貼っておき、意見の共有化を図った。本時は、三段階討議法の「比べ合う」から始めた。</p>	
15分	8 話し合い 話し合うこと① 《なにをやるか》 ・比べ合う ・まとめる	<ul style="list-style-type: none"> できるだけたくさんの人に発表してもらうため、指名が偏らないようにする。 大きな声ではっきりと言う。 賛成意見から言わせ、建設的な話し合いができるようにする。 	話し合うこと①で決まったこと ・ぞんびおにごっこ ・しっぽとり
20分	話し合うこと② 《なかよし大きくせんるう》 ・出し合う ・比べ合う ・まとめる	<p>話し合うこと 事前に出た意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ぞんびおにごっこ・しっぽとり・だんす・おにごっこ・てつなぎおに・こおりおに・ 反対意見を出すときには、賛成意見も言わせるようにする。 話がそれたときには、提案理由やめあてをもう一度確認し、提案理由に沿った意見を出してもらうようにする。 話し合うこと②は、可能な限り決定する。 	話し合うこと②で決まったこと ・つよくいわない ・けんかをしない ・ことばづかいにきをつける ・せんせいのはなしをきく ・きもちわるいことばをいわない
5分	9 決まったことの発表 10 振り返り 11 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ノート記録が決まったことを大きな声で発表する。 各自、学級会個人ノートへ記入する。 	◎司会グループ(計画委員)が自分の役割や話し合いの流れを理解している。【思考・判断・実践】〈観

	12 終わりの言葉	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 終末の話 ・ 話合いの成果 ・ 話合いの課題 ・ 計画委員へのねぎらい ・ 事後の活動への意欲付け </div>	察) ◎提案理由に沿って考え、理由を明確にして自分の考えを発言している。【思考・判断・実践】〈観察〉 ◎自分の考えを発言するだけでなく、友だちの考えも聞いている。 【思考・判断・実践】〈観察〉
--	-----------	---	---

《実践活動の様子》






研究の成果と課題

成果は学級会を重ねるにつれ、話し合うことへの意欲が高まり、子どもたちの主体性や自主性が育ちはじめ、自分たちのことを話し合おうとする態度が育ってきた。自分の思いついたことの発言ではなく、提案理由やめあてを意識しながら意見を言うことができるようになった。また、司会グループ（計画委員）を輪番制にすることで、全員に活躍の場があり、その役割を果たそうとする意識が高まった。実践活動では、学級会で決まったこと（仲よし大作戦ルール）を子どもたちが意識しながら、楽しくクラス遊びができた。

課題は学級会で決定されなかった「ありがとう」の意見を尊重する配慮が必要である。「比べ合う」から「まとめる」の部分が不明瞭であった。まとめる場合には、賛成意見が多いものから順に「これで決定していいか」をしっかりと確認する必要がある。

実践事例④ 平成28年11月16日所沢市立仲栄小学校 第4学年特別活動 加藤 香織

第5回 学級活動計画書 11月16日（水）5時間目			
議題	2学期がんばった会をしよう。		
提案理由	2学期は運動会や音楽会などのたくさんの行事がありました。どの行事にも協力して取り組み、心が一つになりました。そこで、がんばったクラスのみならずで仲良く楽しく遊んで、3学期もみんなで協力できるようにしたいと思って提案しました。		
話合いのめあて	クラスのみならずが仲良く楽しく遊べるような会の計画をたてよう。		
決まっていること	① 日時：12月19日（月）3校時 ② 場所：体育館 ③ 内容：1時間でできるもの、遊びは3つ		
時間	話合いの進行	進め方・気をつけること	目指す児童の姿（評価）
5分	1 始め言葉 2 計画委員の紹介 3 議題の確かめ 4 提案理由 5 話合いのめあて 6 決まっていることの確かめ	・大きな声で言う。	◎計画委員が話合いの進め方について理解している。 〈観察〉【知識・理解】




<p>15分</p> <p>p 20分</p>	<p>7 話し合い</p> <p>柱① どんな遊びをするか</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>① 意見タイム ② 質問タイム ③ 賛成・反対の意見タイム ④ 決定タイム</p> </div> <p>柱② 仲良く楽しく遊ぶための工夫</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・話がそれないようにする。 ・はっきりとした声で進める。 ・スムーズに進められるようにする。 ・よく見ていろいろな人を指名する。 ・時間をよく見て進める。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>柱① 決まった意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リレー ・あみほっぽった ・王様とり </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>柱② 決まった意見</p> <p>出た意見の中で取り入れられそうなもの</p> </div> 	<p>◎友だちの意見を真剣に聞いたり発言したりして話し合いに参加している。 (観察・学級会ノート)</p> <p>【関心・意欲・態度】</p> <p>◎提案理由を踏まえ、理由を明確にして話し合いに参加している。 (観察)</p> <p>【思考・判断・実践】</p> <p>◎友だちの意見を参考にしながら新たな意見や折衷案を考えて発言している。 (観察)</p> <p>【思考・判断・実践】</p> 
<p>5分</p>	<p>8 決まったことの発表</p> <p>9 振り返り</p> <p>10 先生の話</p> <p>11 終わりの言葉</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りの中で友だちのよいところを見つけたり前回の自分と比べたりできるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>教師の話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回よりもよくなったこと ・今後の課題 ・計画委員へのねぎらい </div>	

研究の成果と課題

成果は学級会を重ねていくことで、児童が話し合いのやり方を理解し、少しずつ自分たちだけで進行できるようになった。学級会ノートに事前に意見を記入し、教師がコメントを記入することで、児童は全員自分の意見に自信をもって発表することができた。議題ポストに入っていた議題を実際に話し合い、実行していくことで、自分たちでクラスをよりよくしていこうという意識を持ち、活発な話し合いができるようになってきた。

課題は柱②の工夫については、ルールの上に意見が偏ってしまった。また、面白いアイデアが出た場面があったが、ふくらませることができなかった。教師が的確に指導助言できれば、より深い話し合いができた。時間が不足し、時間を過ぎてしまった。場合によっては、事前に共通理解し、「比べ合う」の段階から始めると話し合いの時間を確保できた。

実践事例⑤ 平成28年12月1日 所沢市立山口中学校 第3学年学級活動 河内 直美

3年3組 学級会活動計画書 平成28年12月1日(金) 5時間目			
議題	クラスの思い出になることをしよう		
提案理由	卒業式まで残り数か月となりました。3年3組でいられるのもあとわずかです。そこで、私たち思い出係はクラスの最後の思い出としてみんながしたいことをやりたいと考えました。		
話し合いの目当	クラスの思い出として何をするかを決めよう。		
	話し合いの進行	進め方・気を付けること	◎目指す生徒の姿(評価)
5分	<ol style="list-style-type: none"> 1 開会の言葉 2 委員の紹介 3 議題の発表、確認 4 提案理由の説明 5 教師の話 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 学級活動シートにも流れをのせ、進行状況を 確認できるようにする </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・目的を意識できるよう、提案理由をもとに考えるよう伝える。 ・事前に黒板に話し合いの流れを掲示しておく。 ・事前にアンケートで出た内容を黒板に掲示しておく。 	
25分	<ol style="list-style-type: none"> 6 話し合うこと 柱1 何をするか	<ul style="list-style-type: none"> ・すること(レク等)と作るもの(記念品)を一つずつ決める。 ・小グループ(3~4名、9班)で話し合う。 ・グループ内で役割分担(司会、計時、書記)をする。 ・ホワイトボードの活用(メモ、掲示) 	◎自分の意見を、理由を示しながら発表している。 【観察】【学級活動カード】 ◎議題の提案理由や話し合いのめあてを理解し、意欲的に参加している。【観察】
13分	柱2 役割分担	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループで出た内容を発表し、全体でも意見を出し合う。 ・意見を述べるときには必ず理由を入れて発表するように伝える。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 発表にずれが見られたときには、提案理由にかえるよう助言する。 </div>
7分	<ol style="list-style-type: none"> 7 決定事項の確認 8 自己評価、感想記入 9 教師の話 10 閉会の言葉 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返る時間を確保できるよう、余裕をもたせるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 話し合いに積極的に参加できたかなど、3段階で簡単に評価できるようにする </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 話し合いのよかった点(意見の出し方、進行の仕方等)を評価する </div>	◎集団決定した目標について、自分のこととして受け止めている。【学級活動カード】 ◎提案理由や人の意見を受け、自分の考えをまとめ、カードに記入している。【学級活動カード】

研究の成果と課題

成果は、学級会形式の話合い活動は小学校で経験したの生徒が多く、回を重ねるごとに臨機応変な進行ができるようになり、発言も目に見えて増えていった。全員で決めたことという意識をしっかりと持つようになり、決定事項を強く意識して行動するようになるとともに、学級としてのまとまりを感じる生徒も多くなってきた。何か問題が発生した時に、生徒の方から話合いをしたいという申し出も出てくるようになった。

課題は話合い活動ができる学級活動の時間が限られているため、準備にかかる時間が不足した。議題から話合いの内容がそれてしまうことも多かった。50分でまとめられないことも多かったので、決まっていることの確認が必要だった。

今までは形式を意識した話合い活動を行っていなかった。しかし今回研究員として特別活動を研究することとなり、小学校での話合い活動の様子を参観することができるということで、この機会を活かし、年間を通して計画的に話合い活動を取り入れた。生徒の様子から、話合い活動が生徒により影響を与えていることを改めて感じる事ができた。今後も研究を進めるとともに、話合い活動を積極的に実施していきたい。

V 研究の成果と課題

今回の研究実践を通して、教師は児童生徒一人一人や学級の実態をしっかりと把握し、適切な助言を適切なタイミングで行うことが最も重要であることがわかった。具体的な研究実践の成果と課題として以下のことが挙げられる。

1 成果

(1) 話合いの進め方の理解

話合いの中での司会進行にかかわる助言は、計画委員の児童生徒だけでなく、全員の意識を向上させるために学級全体に投げかけた。全体に説明したり、問いただしたり、呼びかけることで話合いの進め方を全員が理解できるようになった。また、司会者を助ける意見や集団決定につながるような意見が出されるようにもなった。さらに、他者の考えを生かしながら自分の意見を述べたり、反対意見ではなく、修正案を提案したりする場面も多くなった。三段階討議法（出し合う・比べ合う・まとめる）での学級会の基本的な進め方についても理解させることができた。

(2) 提案理由、めあてに沿った話合い

提案者の思いを感じ取り、「今のクラスはこうである」「だから、こんなことをすれば」「クラスはこうなる」という思いをもって話し合うことができるようになってきた。建設的な意見が増え、自分たちで学級をつくっていこう（よくしていこう）とする力が育ってきた。また、話合いを進めるにつれて、児童生徒たちが自分たちのこと（問題）を話し合おうとする態度が育ってきた。

(3) 他校の学級会の参観

他校の学級会を参観することで、学級会グッズや学級会の進め方などについて自分の学校との違いや他学年の学級会の進め方についても知ることができた。中学校では、決められた議題を話し合うことが多いが、自分たちで議題を設定した場合には、意見を出し合うことに楽しさややりがいを感じる生徒が多かった。

2 課題

(1) 話し合うこと（柱）の共通理解の重要性

話し合うこと①の「何をするか」よりも話し合うこと②の「どんな工夫をするか」の部分に重点を置き、話し合いを進められるとよかった。また、①何をするか②どんな工夫をするか③役割分担の三つに分けて行う場合に①と②が同じ内容にならないようにする。さらに、事前に話し合うことが共有されていないと話し合いが深まらなかったり、意見がまとまらなかったりする。児童生徒の共通理解がないと、教師も適切な助言を行うことができない。「決まっていること」を詳しく設定しておくことで、話し合いが進めやすくなる。

(2) 終末の「先生の話」の明確化

終末の「先生の話」は学級会のまとめとして、①前回の話し合いよりもよくなったこと②次回の話し合いへの課題③計画委員へのねぎらいの三つを明確にして話をするのが大切である。このことは、児童生徒の話し合い活動への意欲を高めるために必要である。

3 終わりに

4月当初は、特定の児童生徒だけによる話し合いが行われたり、話し合いによって学級をどのように変えていきたいのかという思いがないまま取り組んだりする様子が見られた。しかし、実践を重ねていくことで、「自分たちでクラスをよくしていきたい」「困っていることをみんなで解決したい」と思う児童が増え、自発的に話し合いを行おうとする雰囲気が高まってきた。

学級活動（1）は、自治「的」活動であり、教師の適切な指導の下で活動が行われるものである。そのために、時間、場所などの『条件』を明確にし、話し合いまでの期間を十分に設定し「耕し」を行うことで話し合い活動に対する児童の気持ちも高まり、活発な話し合い活動が展開される。

今後も適切な指導、助言を講じながら、児童生徒による自治的な話し合い活動が行われるよう、支援に努めていきたい。

【参考文献】

- ・「小学校学習指導要領解説特別活動編」 文部科学省
- ・「中学校学習指導要領解説特別活動編」 文部科学省
- ・「楽しく豊かな学級・学校生活をつくる特別活動 小学校編」

文部科学省／国立教育政策研究所 教育課程研究センター